

水稲乾田直播栽培での鎮圧と播種条間

【1 水稲乾田直播の播種前後の鎮圧はどのような効果があるのですか？】

(1) 播種前にカルチパッカやクローラ型トラクターで鎮圧し、播種後にカルチパッカ鎮圧する（図1）ことで、播種深 2cm 以内に安定的に播種することができ（図2）、出芽を早めるとともに、出芽時の葉齢のパラツキを小さくすることができます。

〔参考〕クローラ型トラクターに装着したレーザーレベラーを用いた均平作業を行うことで、より効率的にクローラ型トラクター単体鎮圧と同等の鎮圧効果を得ることもできます。



図1. 乾田直播栽培における鎮圧作業

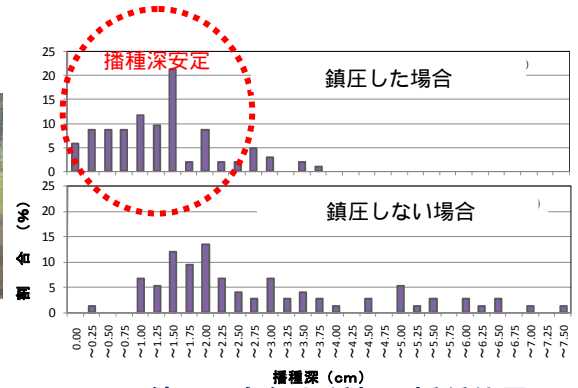


図2. 鎮圧の有無と種物の播種位置

【2 水稲乾田直播を行う場合、条間はどのようにするのがいいですか？】（「どんぴしゃり」の場合）

(1) 品種「どんぴしゃり」を用い播種条間 18～36cm で播種した場合、播種条間を 18cm と狭くすることで、同じ播種量でも早期に茎数を確保でき、穂数、全重及び精玄米重の増加が期待できます（図3、図4）。

(2) また、条間を狭くすることで、2次枝梗割合が低くなることから、登熟が良好になり高い玄米品質が期待できます。

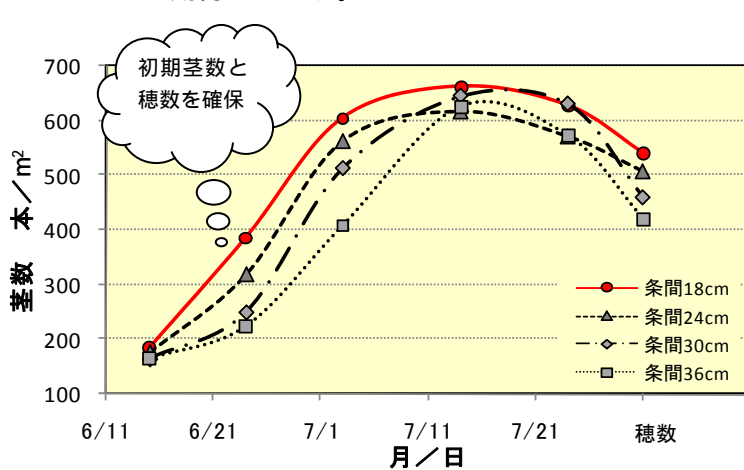


図3. 播種条間と茎数の推移 (品種：どんぴしゃり)

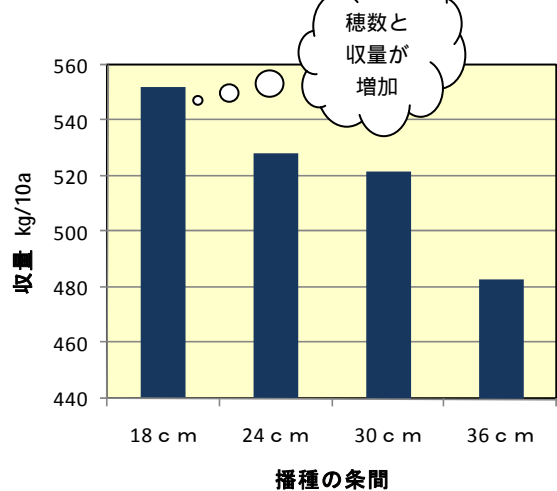


図4. 播種条間と収量 (品種：どんぴしゃり)